

天竜林業イノベーションスクール開講式 実施報告

1. 実施概要

日 時：令和7年2月28日（金）14:00～17:00

会 場：グランドホテル浜松2階白鳥

スクールカリキュラム：

内容	講師
主催者挨拶	浜松市長 中野祐介市長
事業及びスクールの説明	浜松市産業部 林業振興課 課長補佐 藤江 俊允氏
「天竜林業の課題抽出及び解決検討業務」結果の報告	静銀経営コンサルティング㈱ 吉田 祐樹
基調講演「林業を取り巻く状況」	速水林業 代表 速水 亨氏
天竜林業イノベーションスクールのオリエンテーション	静銀経営コンサルティング㈱ 吉田 祐樹

2. 講演内容

（1）「天竜林業の課題抽出及び解決検討業務」結果の報告

「儲かる天竜林業」の実現に向けて、7つの林業関係事業者へのヒアリングを実施し、調査結果を報告した。結果、「産地全体の戦略（ストーリー）設計」や、「戦略設計に基づく営業手法の検討」、「異業種（特にIT等）との積極的な協業」等の課題があることを報告した。背景として、大規模製材工場のある他産地との競合、外国産材等との価格競争、人口減少等があり、その対応として天竜地域全体でのブランディングや、販路開拓への取組、できる範囲でのIT活用による生産性向上等に取り組んでいくことが重要であること等を説明した。

(2) 基調講演「林業を取り巻く状況」

日本で初めて FSC 認証を取得した速水林業の速水亨氏をお招きし、基調講演をいただいた。林業はビジネスである一方、管理自体が環境事業であり、森林の価値に目を向けることの重要性や、バックキャストで理想の森林を想像し、そこに向かう施業を行うことが重要である点等をご説明いただいた。他方、日本の木材流通は極めて複雑であることや、諸外国と比較すると施業コストが大きく、生産性を高めていく取組みが必要との説明があった。

取組として、速水林業の林業設備（タワーヤーダーを始めとする設備）の活用について解説をいただいた。



(3) 天竜林業イノベーションスクールのオリエンテーション

スクールのオリエンテーションとして、林野庁が掲げる林業イノベーションの定義を説明。ヒアリング時に「データ、AI・ICT・ロボットの開発、活用」等は天竜地域で活用しにくいとの意見も多く、スクールを通じて、「天竜地域に馴染むイノベーションの解」をみつけることが重要との説明を行った。その他、イノベーションの必要性やスクールの位置づけ、カリキュラム等について説明を行った。

以上